

北九州市の子ども・家庭政策

第1章 近年の出生率等の状況

1 出生数、出生率の推移

(1) 出生数と合計特殊出生率の推移

北九州市の年間の出生数は、昭和42年に20,507人と最も多くなりました。それ以降は減少傾向で推移し、平成2年に10,000人を割り込み、平成17年には8,196人と当時最も少ない出生数となりました。その後は3年連続で増加しましたが、平成21年より現象傾向に転じ、平成29年は7,349人と、これまで最も少ない出生数を更新しました。

次に合計特殊出生率*をみると、昭和45年では2.0ありましたが、毎年低下し続け、平成17年に過去最低の1.30となりました。平成18年以降から10年連続で増加し、

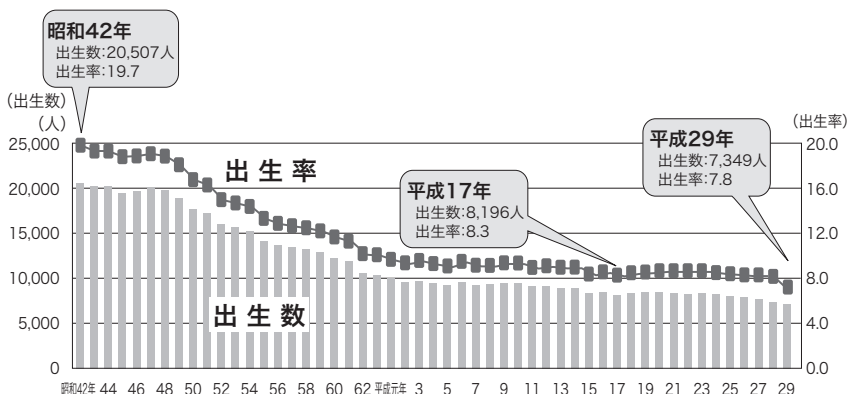
平成28年は1.61となりましたが、平成29年は1.60となりました。

◆北九州市の出生数

年度	相談件数
25	8,072人
26	7,904人
27	7,864人
28	7,621人
29	7,349人

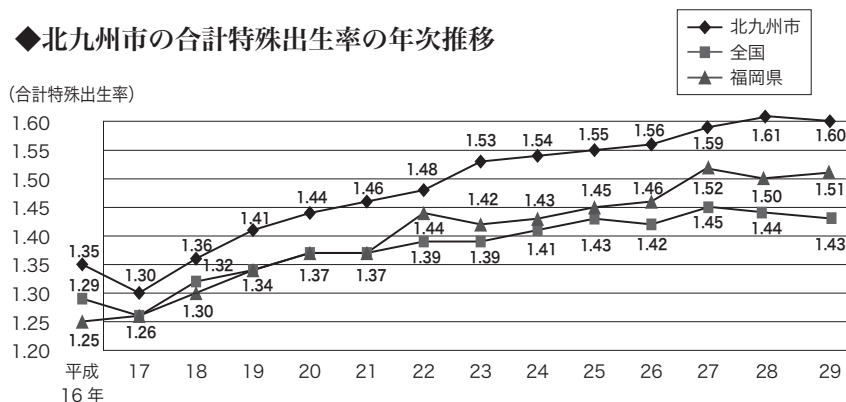
*合計特殊出生率とは、その年次の15～49歳までの女性の年齢別出生率を合計したもので、1人の女性が、仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に子どもを生むと仮定したときの子どもの数に相当する。長期的に人口が安定的に維持される合計特殊出生率の水準（人口置換水準）は、2.1前後で、近年の日本における値は2.07～2.08となっている。

◆北九州市の出生数および出生率



資料：北九州市衛生統計年報

◆北九州市の合計特殊出生率の年次推移



資料：厚生労働省「人口動態調査」、北九州市は「北九州市衛生統計年報」

◆政令指定都市の出生数および出生率の比較（平成29年）

都市名	出生数	出生率
札幌市	13,821人	7.0
仙台市	8,635人	8.0
さいたま市	10,520人	8.2
千葉市	6,654人	6.8
横浜市	27,763人	7.4
川崎市	13,778人	9.2
相模原市	5,045人	7.0
新潟市	5,724人	7.0
静岡市	4,885人	7.0
浜松市	6,244人	7.8
名古屋市	19,120人	8.3
京都市	10,374人	7.0
大阪市	21,457人	7.9
堺市	6,366人	7.6
神戸市	11,302人	7.4
岡山市	6,156人	8.5
広島市	10,165人	8.5
北九州市	7,349人	7.8
福岡市	14,382人	9.2
熊本市	6,746人	9.1

資料：厚生労働省「人口動態調査」
資料：北九州市は「北九州市衛生統計年報」
出生率とは人口1,000人あたりの出生数

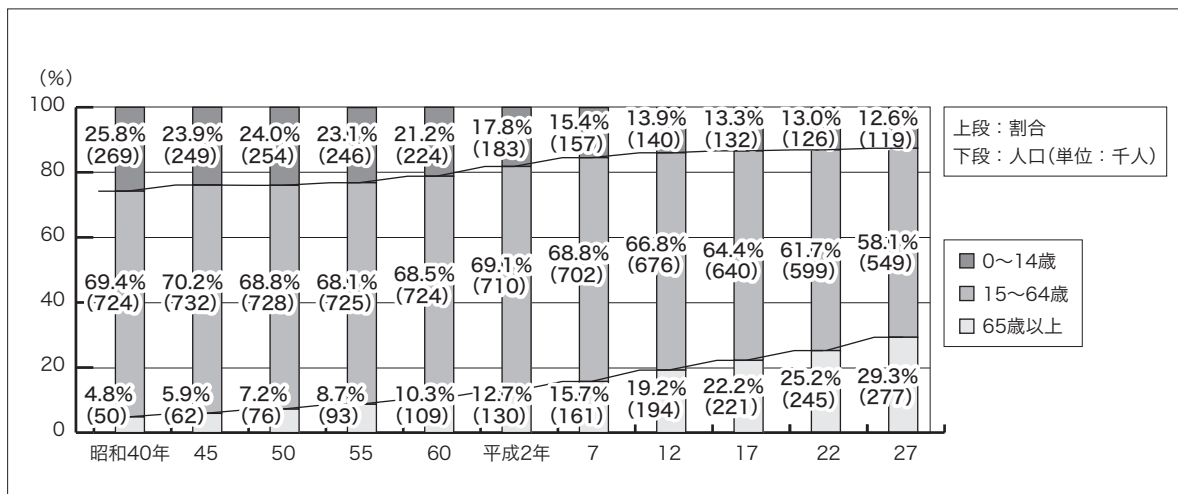
(2) 年少人口と老年人口の推移

出生数の減少は、北九州市における年少人口（0～14歳）の減少をもたらしています。

年少人口の総人口に占める割合（年少人口割合）の変化をみると、昭和40年には25.8%でしたが、平成27年には12.6%となり急激に低下しています。

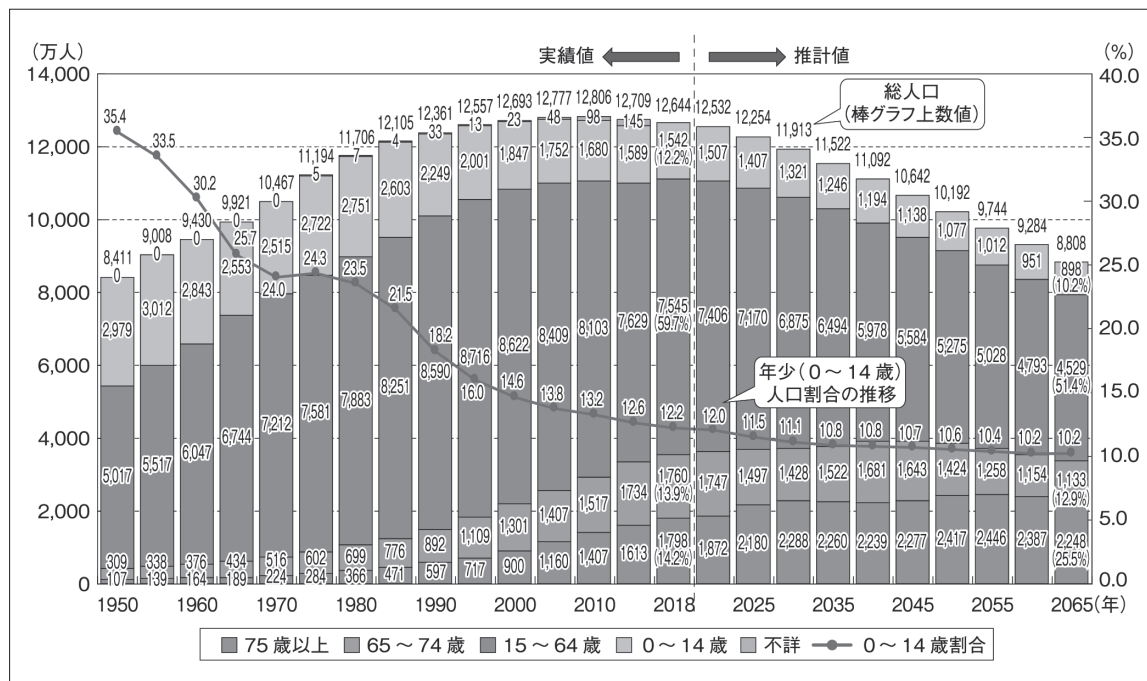
一方、老年人口（65歳以上の高齢者人口）が総人口に占める割合（老年人口割合・高齢化率）の変化をみると、昭和40年には4.8%でしたが、平成7年は15.7%で年少人口より多くなり、平成27年には29.3%と急激に上昇するなど、少子高齢化が進行しています。

◆北九州市の年齢区分別人口割合の推移



資料：総務省「国勢調査」

◆我が国の総人口及び人口構造の推移と見通し



資料：内閣府「令和元年度版 少子化社会対策白書」

2015年までは総務省「国勢調査」、2018年は総務省「人口推計」（平成30年10月1日現在確定値）、2020（令和2）年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。

注：2018年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査 年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950～2015年の年少人口割合の算出には分母から年齢不詳を除いている。

注：年齢別の結果からは、沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）を除いている。

2 婚姻の状況

(1) 未婚化・非婚化の進行

婚姻件数・婚姻率は、ともに低下傾向にあり、平成29年の婚姻件数は4,581組、婚姻率は4.9となっています。

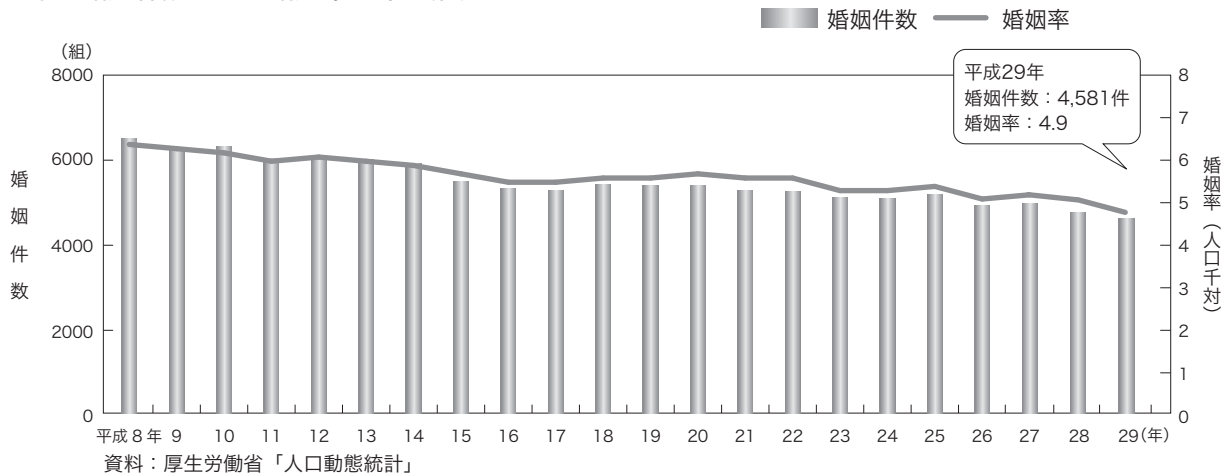
また、平成27年の国勢調査によると、北九州市の15歳以上の人口の未婚率は、男性29.8%、女性23.1%で、国全体と比較すると男性は1.1ポイント低く、女性は0.4ポイント高くなっています。

北九州市の未婚率の経年変化を年齢階級別に見ると、

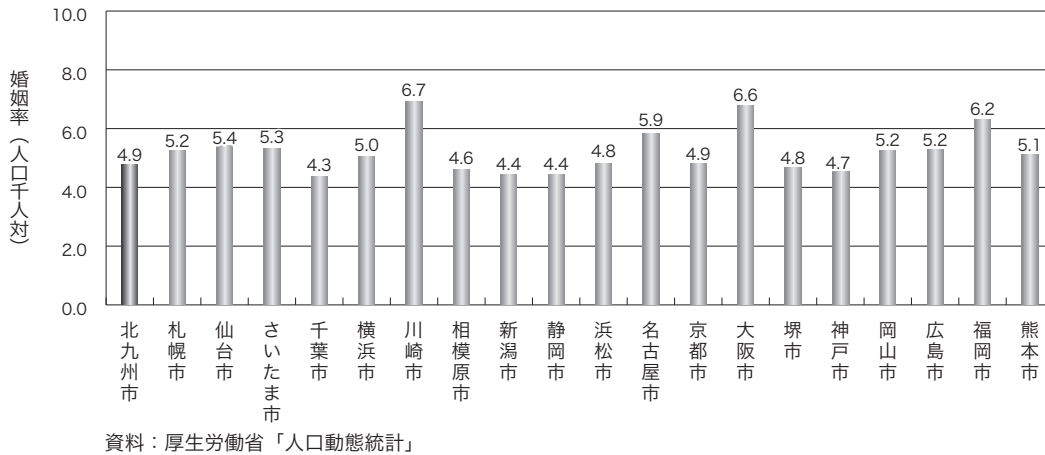
男女ともに全ての階級で上昇傾向にあります。特に男性では30～34歳が42.6%で、昭和55年に比べ23.1ポイント上昇し、女性では25～29歳が57.5%と29.9ポイント上昇しています。

このように北九州市においても未婚化・非婚化が進行しています。

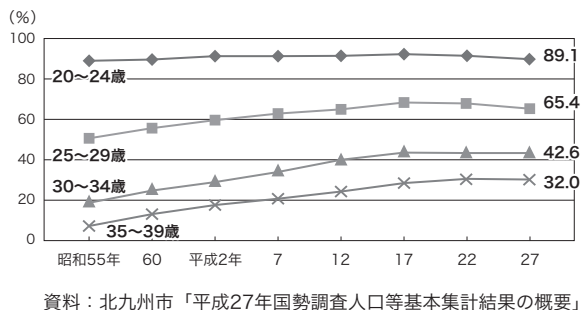
◆北九州市の婚姻件数および婚姻率の年次推移



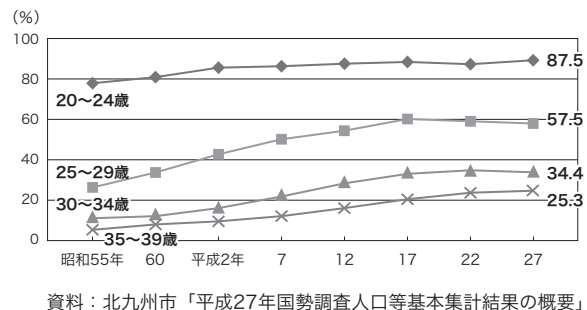
◆政令指定都市における婚姻率の比較 (平成29年)



◆北九州市の年齢別未婚率の推移 (男性)



◆北九州市の年齢別未婚率の推移 (女性)

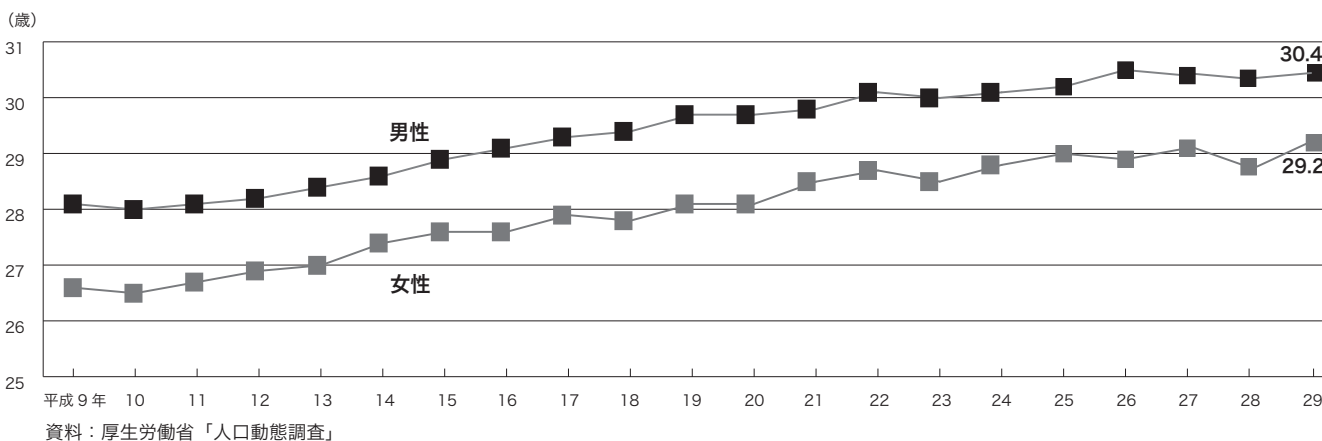


(2) 晩婚化、晩産化の進行

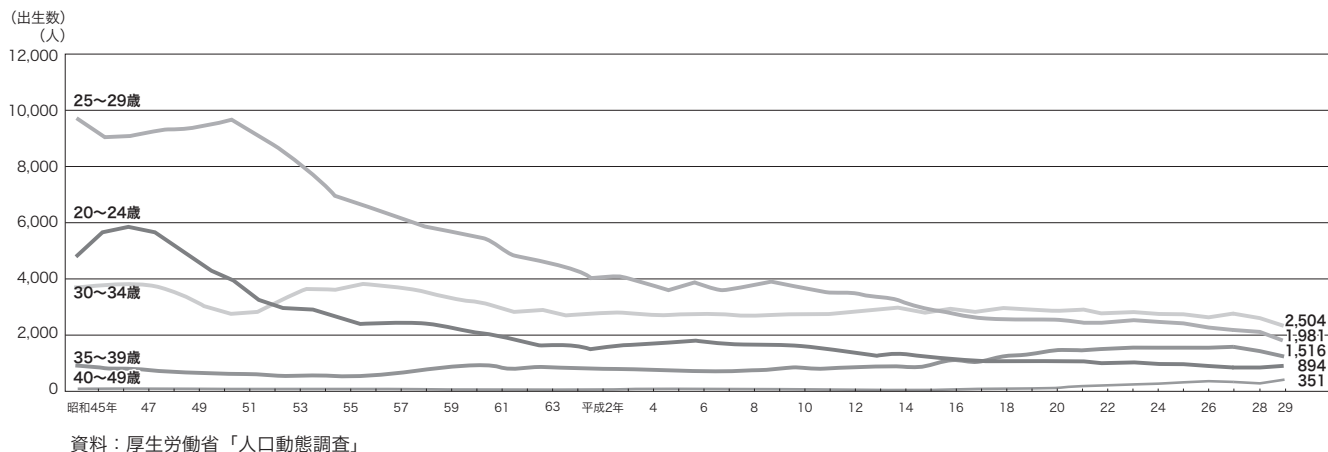
北九州市民の平均初婚年齢は、平成29年で男性が30.4歳（対前年比0.1歳上昇）、女性が29.2歳（対前年比0.3歳上昇）と男女とも上昇しており、経年で見て

も男女ともに上昇傾向にあります。また、出生順位第1子の母親の平均年齢をみると、平成28年で29.7歳（前年同数）となっています。

◆北九州市の初婚年齢の年次推移



◆北九州市の母親年齢階級別出生数の年次推移



◆出生順位第1子の母の平均年齢の推移

